

日時 校時 クラス	教科	単元名・題材名
10月2日 5校時 5年2組 29名	社会	米づくりのさかんな地域
本時のねらい	米づくりの中で取り組まれている工夫に着目して、農家の人たちが安全や環境に配慮して米をつくっていることを捉える。	
評価規準 【評価方法】	資料を読み取ったり話し合ったりすることで、農家の人たちが様々な工夫をして安全や環境に配慮した米づくりを行っていることを理解することができる。 【発言・ノート】	
展開	学習活動	◇留意事項 ★見取りの視点
問題の設定 ⑩ (2分)	1. 前時の振り返り 2. ⑩米づくりのさかんな場所では、どのような工夫や努力がされているのだろう。	◇本単元の学習計画を掲示し、確認する。
めあての設定 ③ (3分)	3. めあての確認 ③おいしい米づくりのために農家の人たちはどのようなことをしているのだろう。	◇まとめがめあてとつながっていることを改めて確認する。
自力解決 集団解決 ① ② (20分)	6. 一人、もしくはグループで課題を解決する。 7. 全体で調べた成果を共有し、必要に応じて加筆修正する。	★資料を読み取り、自分の言葉でまとめられているか。 ★友達と共有をして必要に応じてノートに書き加えられたか。 ◇取り組みにだけに意識目が向いてしまうことが考えられるので、農家の人たちの思いや願いにも気付けるような資料を提示する。
価値の共有 ④ (15分)	7. 班で本時のまとめをする。 8. 全体で班のまとめを共有し、共通点を探す。	◇班のまとめはホワイトボードに書き、共有が終わり、必要に応じて書き加えた後、ロイロに提出する。
振り返り ⑤ (5分)	10. ふりかえりを行う。	◇学習計画表を見て、次時のめあても併せて確認する。